

鈴木 博貴 -勝つ虫と妖生ちゃん展-

2014年6月6日(金)- 7月4日(金)

*オープニングレセプション 6/6(金)18:00-20:00

10:00-18:00 土日祝日休(※但し6/28(土)は開廊) / 入場無料

会場: Gallery t 〒111-0052 東京都台東区柳橋1丁目9-11

主催: トーホー株式会社

この度、2014年6月6日(金)から7月4日(金)まで、「鈴木 博貴-勝つ虫と妖生ちゃん展-」を開催いたします。鈴木博貴は、文星芸術大学を卒業(2003)、第14回 青木繁記念大賞展 特別賞を受賞後(2005)、「僕は妖精を見た。展」(P-House, 2010)を開催するなど、精力的に活動しています。本展では、新作十数点の発表、販売をいたします。是非ご高覧いただきますよう、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

Gallery t

|本展によせて|

「現代美術家鈴木は、一貫して妖“生”を描き続ける」、生きとし生けるものすべてに宿る目に見えない何かの象徴が妖生ちゃん。物体の存在が消えてもお生き続ける妖生ちゃん。シャーマンのように彼はそれを我々に伝える。

突然だが、皆さんは「広島県大和ミュージアム」に残る人間魚雷で出撃する方の最後の肉声を聞いたことあるだろうか?実は、今回の展示で一際目を引く新作《昼一畳ほどの思い》(2014)を見た時に、思いもよらずその時の衝撃を私に思い出させた。人間魚雷の良し悪しや歴史観や戦争論は全く別に、そこには、一人の人間が必死に何かに向かい一歩もひかずに戦う覚悟を決めた純粋な生きる力が宿っている。今回の展示において、日本の素材を駆使して鈴木が見事に再生したのは、前進のみ許される勝つ虫(トンボ)を甲冑にまとい、すべての無駄や邪念を排除し、たった昼一畳の空間の中で意を決し戦う覚悟を決めた武士の生きる力である。

少々固い紹介となってしまったが、ぜひ気軽に個展に足を運んでもらいたい。なぜなら、今回の個展では、上記に限らず種々様々な妖生ちゃんが舞っており、それはきっと、マテリアリズムによる幸せに満足できない鑑賞者に、目に見えないものの慈しみさや、それによる幸せ、そして明日を生きるための活力を与えてくれるだろうから。これは実物の作品をその場で鑑賞することのみ楽しむことができる贅沢な感覚であり、鑑賞者の中には自らの空間にその作品を置いておきたくなるかもしれない。

Gallery Fm[エフマイナー] 森田 博和



《ダ・ヴィンチと妖精ちゃん》, 2014
アクリル、色鉛筆、紙、和紙、ベツボル
h380×w275mm



《DEATH MILE》, 2010
アクリル、綿布、転写紙
h3240×w3240mm

鈴木博貴 HIROTAKA SUZUKI

<http://www.hirotaka-art.com>

1980 宮城県生まれ

2003 文星芸術大学 卒業

主な展示

2014 貝と小鳥と妖精ちゃん展 / 貝の小鳥, 東京

ダ・ヴィンチと妖精ちゃん展 / club ESTA, 東京

2013 妖精ちゃん展示 / きつこ, 東京

妖精ちゃん展示 / Kanda Coffee おつまみ母さん, 東京

いろいろ妖精ちゃん展 / Lab+cafe, 東京

2010 僕は妖精を見た。展 / P-House, 東京

2005 石橋美術館, 福岡
郡山市立美術館, 福島

AXISギャラリー, 東京

2003-2010 丸沼芸術の森展, 埼玉

2002 ノキア・アート・アワード, タイ・バンコク展

2001 ノキア・アート・アワード, 東京展

受賞歴

2005 第14回 青木繁記念大賞展 特別賞(損保ジャパン賞)
新風舎絵本大賞展

2001 ノキア・アートアワード・アジアパシフィック2001(グランプリ賞)

1999 オリンピック&アートコンテスト

作品集

HIROTAKA SUZUKI 2010 (SHIBUYA PUBLISHING BOOKSELLERS)

コレクション

丸沼芸術の森

お問合わせ先

Gallery t

tel: 03-3862-8549 fax: 03-3851-9787 email: bstyle-galleryt@toho-beads.co.jp

URL: <http://www.toho-beads.co.jp/tbs> 担当: 木内

是非、貴誌・貴社にてご紹介下さいますようお願いいたします。なお、掲載用写真の貸出、御質問などございましたら、上記までお問い合わせ下さいませ。

TOHO BEADS STYLE Tokyo studio / Gallery t は、グラスビーズと現代アートとのコラボレーションというコンセプトのもと、毎月1回のペースで企画展を開催しております。



《昼一畳ほどの思い》, 2014
昼、アクリル、漆紙
h1760×w880mm